

あつてはならず、日本の将来像や経済的な成長に関してもっと政府に提言していくべきです。



## 地震と少子化問題

札幌市医師会東区支部  
八田内科 院長

八 田 一 郎

この原稿を書いている時点（3月23日）で今回の地震の被害は進行中で、今後の見通しはまだたっていない。幸いなことに、現政権の若いタレントのおかげで日本中がパニックに陥るのをかろうじて免れている。もし某野党が政権をとっていたなら、良く晴れた週末の午後のこと、ゴルフにでかけて連絡の取れない閣僚が続出し、確実に初動が遅れたであろうことは過去の例からも想像できる。

さらに石原都知事の発言にも唾然とさせられた。東京の繁栄のために原発を福島県に押し付け、沖縄に基地を押し付けて自分は再選をもくろむ。今回の震災の被害者に対して、我欲に対する天罰のせいだといつてはばからぬ感覚は、単なるぼけた保守主義者のたわごとにとどまらず、リビアのカダフィ大佐よりも愚かしい。同じようにセ・リーグの早期開催にこだわった我欲のかたまりであるジャイアンツの渡辺恒雄も同罪である。

さて今回の震災は現代文明の限界が明確に示されたといつていいだろう。これは原子力だけでなく、医学や医療の面でも同じである。先日国会議員の野田聖子さんが、50歳直前で人工授精にて出産をした。結局、重たい障害を持ったお子さんが生まれてしまい、本人も周産期の合併症でかなりcriticalな状態で、最終的には子宮を全摘している。生物学的な限界を超えて生殖医療の技術は拡大しているが、これに伴うリスクも増大している。今後このお子さんにかかる莫大な医療費や養育費はいったい誰が負担するのか、国会議員である本人に聞いてみたい。

さて、日本の危機が叫ばれているが、われわれにとっての希望は新たに日本の文化を受け継ぐ若い世代、そして子供たちである。少子化対策の抜本的解決はもちろん出生率の増加が必要なことは誰でも分かっている。生物学的には出産適齢年齢は十代後半から二十代前半で、その年齢であれば安産であるし、周産期の合併症が少ない。こんなことは産婦人科の先生方にとっては常識である。しかしながら、社会

的、経済的に今の日本においてはその年齢で出産することはなかなか難しい。ただし、出産年齢の高齢化に伴う危険性に対しての警鐘を鳴らすのは、医師会として当然である。

少子化対策の一つとして、民主党政権になりやっと子供手当が始まった。残念ながらマスコミ等で話題になるのはその目的、有効性ではなく、与党と野党とのチキンレースの政争の具でしかない。

先進国の中でも出生率が高いフランスでは各種の子供手当が充実している。基本的には2人以上の子供がいる家庭では124ユーロ（約1万5,500円）、3人目からは1人につき159ユーロ（約2万円）の手当がつく。さらに11歳以上になると35ユーロ（約4,400円）、16歳以上になると62ユーロ（約7,800円）の加算がつく。親が死亡したり離婚したりしても孤児手当が加算される。片方の親を失った時は87ユーロ（約1万1,000円）、両方の親を失ったときは116ユーロ（約1万4,500円）が支給される。

妊娠すると7ヵ月目に984ユーロ（約11万円）の一時金を支給される。ここは日本と似ているが、すごいことにこれは養子縁組みにも適応される。妊娠の場合に比べて1,788ユーロ（約22万4,000円）となんと2倍の金額がもらえる。さらに育児のため仕事を休職したときには、育児休暇補償として最大月額789ユーロ（約9万9,000円）が支給される。障害児を育てる親に給付される障害児手当があり、これは障害の度合いで124ユーロ（1万6,000円）から1,000ユーロ（12万5,000円）と増額される。低所得層に対して、6歳から18歳までの就学する子供を持つ家庭では児童手当が300ユーロ（約3万8,000円）加算される。そして、子供が病気になった時に支給される看護手当、子供を持つ家庭に対しては住宅手当、引っ越しの際には引っ越し手当まで用意されている。

このようにフランスの子供手当は二人以上の子供を産むことに主眼がおかれ、現実に即して細かく制度設計されている。日本の現金丸投げ、かつ所得制限なしの中途半端な制度とは一線を画すものである。これらの政策のおかげで、フランスでは出生率が最低の1.6から最近では2.0以上まで回復している。日本も単なる票欲しさのためのばらまきと批判されないためにも、また本気で出生率向上のためにも制度の充実をはかるべきである。

今、日本は悲しみと不安にさいなまれている、ストレスもたまって二次的に精神的、身体的な症状が悪化してきている患者さんも見受けられる。こんなときこそ日本人に安心をあたえ、信頼を得られるよう、さらに少子化を食い止め新しい日本を再生できるよう、われわれ医師会員の奮闘が望まれる。